

総合的な学習の時間（第4学年）

テーマ【 水辺の学校・わたしたちのふるさと 】

泉大津市立戎小学校

《学習のねらい》

- ・ふるさとに残る美しい自然「大津川」の環境を守る取組みを知り、簡単な水質検査や水にすむ生物の採集などの体験的な学習や、地域の方による聞き取り学習を通して、環境問題を身近な問題として捉える。
- ・環境保全に関心を持ち、自分たちにできることを考える。

《学習の流れ》

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1	<b>大津川の観察</b> ① 簡単な水質検査（PH値など） ② 水の生き物（10～13種類幼魚や幼虫など）に触れる体験 ③ 川にある植物（葦）に触れる体験 ④ 川の清掃	■実際に水に触れる体験を取り入れる。 
2	<b>地域の方から葦の話聞く</b> ① 葦には水質を浄化する仕組みがあることを知る。 ② 葦を利用した、紙づくりなどができることを知る。	
3	<b>葦のかりとり体験</b> ○葦を採集して、リサイクルが行えることを知り、材料となる葦を刈り取る体験をする。	■葦を利用した紙づくりを体験させる。 
4	<b>葦片と牛乳パックを使用した紙すき</b> ○葦を使って、紙すき体験学習を行う。	

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

大阪府鳳土木事務所・泉大津市教育支援センター・水辺の学校ボランティア

《成果》

- 10～13種類の生物を採集して、川が美しい状態であることを知り、身近な環境に、関心を持つことができた。
- 学んだことを互いに交流し合い、「もっと学びたい」という意欲が高まった。